

『雪みち懇談会提言の実現に向けた具体策について』アンケート結果

雪国で生活するみなさんの意見・要望を広くお聞きするため、自治体、一般住民の方々を対象に「雪みち懇談会提言の実現にむけた具体策」についてのアンケートを行い、594名の方々からご回答、参考となる多数のご意見をお寄せいただきました。

以下に、みなさんから寄せいただいたご意見・ご要望とアンケート結果を掲載します。

(アンケートは平成15年8月～9月にかけて、郵送およびFAX、インターネットのHPにより行いました)

雪国オピニオンボード

『北海道』

- ・雪国に住む住民にとっては地域間を連絡する幹線道路は生命道路と考えられる。そのため大雪・地吹雪等にも対応可能な対策が今後も必要不可欠です。(自治体)
- ・違法駐車による、除雪の妨げ、道路幅の減少による危険があり、運転者一人一人のモラル&自覚が必要。(一般)
- ・各自治体(市町村)に冬期バリアフリー対策の重要性を、より強く認識してもらうためのPR及び啓蒙をおこない、より積極的な計画立案及び整備の推進を図る必要がある。(自治体)
- ・観光地へのアクセス道路の整備及び除排雪強化はもとより、道路利用者が安全かつ安心して目的地に到達できるなどの、利用者にとってわかりやすい情報提供の推進が必要。(自治体)

『北陸』

- ・除雪レベルの平準化に取りくんでほしい。(新潟、一般)
- ・合併後の市町村圏の経済・社会生活を支える幹線市町村道(都市計画道路など)の冬期ネットワークの確保が重要。(新潟、自治体)
- ・冬になると、歩道のない狭い道路は通行が大変危険である。(新潟、一般)
- ・駅周辺の歩行者空間ネットワークの確保と歩道整備の推進が必要。(新潟、自治体)
- ・一般市民でも運搬できる車輜とセットで除雪機械の貸し出しを行ってはどうか。(石川、一般)
- ・もっと狭い範囲のネットワークを考えた整備が必要なのではないか?(富山、一般)

『東北』

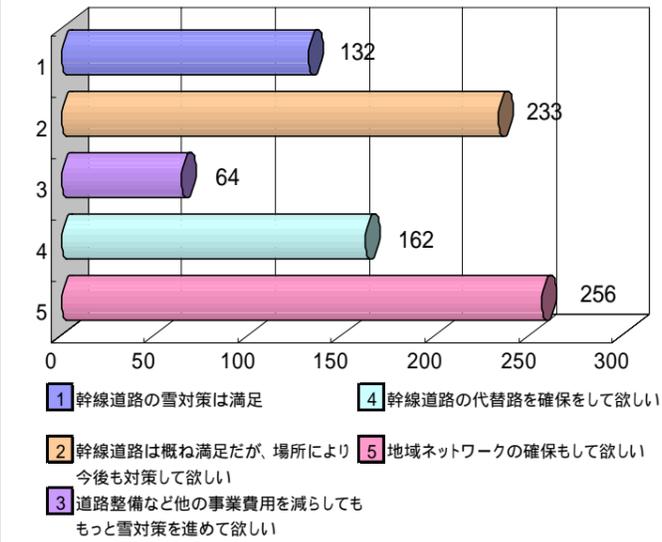
- ・幹線道路と並行する道路の整備が必要と考える。(山形、自治体)
- ・各道路管理者間の連携、情報の共有等を深めれば、今以上に冬期道路管理を効率化できると思う。(岩手、自治体)
- ・歩道除雪はボランティア団体等の協力が必要であり、ボランティア団体と行政が役割分担を明確にし対応する必要がある。(秋田、自治体)
- ・いかに地域と一体となり、必要性を理解してもらい、町内会、PTA、ボランティア団体等の協力を得て取り込んでいくかが課題。(青森、自治体)
- ・イベント開催時においては、通常より力を入れた除排雪をする。(青森、自治体)
- ・スキー客等を誘致するには安全な道路の確保が重要と考えます。(福島、一般)

『その他雪寒地域』

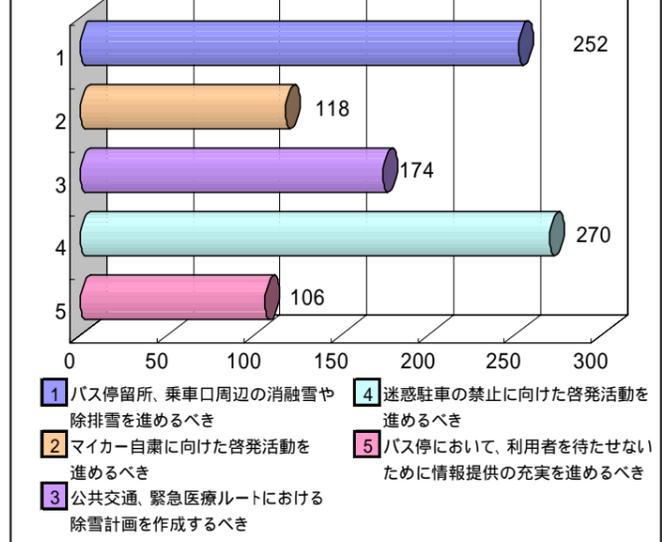
- ・雪国の景色は大変素晴らしいが、冬期間には観光客が道路を歩いて楽しむことができない。冬期間も歩けるよう歩道の整備が必要。(歩道除雪も含め)(長野、自治体)
- ・雪に対しての住民の希望が年々厳しくなっているように感じる。どのレベルまで責任をもって対応してゆかが問われることになると思う。また車道だけでなく歩道除雪の要望が多くなっている。(鳥取、自治体)

- 積雪地域ならびに寒冷地域の隣接地でカバーされる地域
- 積雪地域
- 寒冷地域
- その他の地域

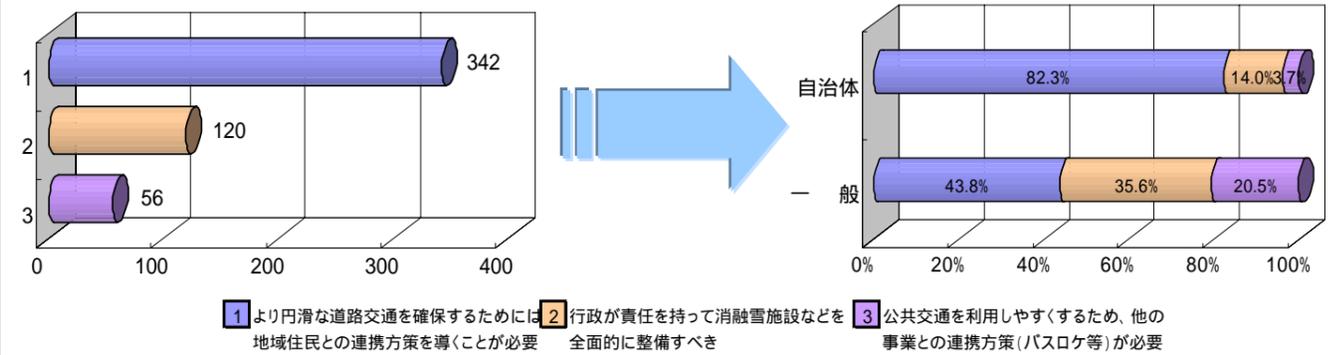
Q. 今後の幹線道路の雪対策は、どのように進めていけば良いと思いますか？(2つまで選んで回答)



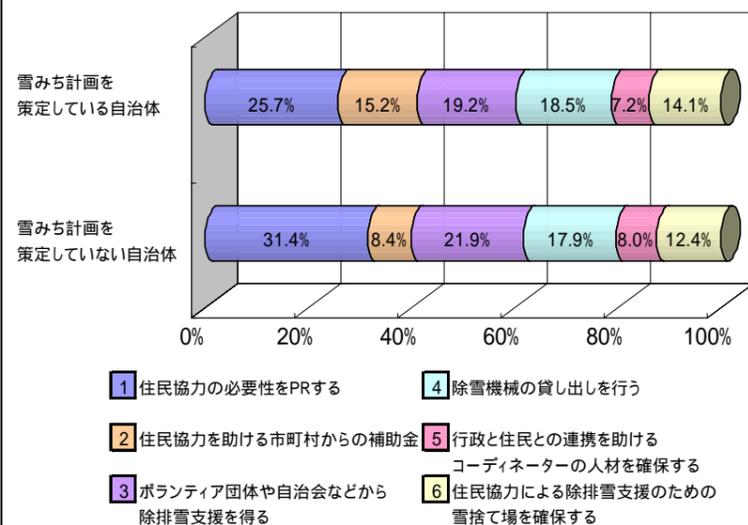
Q. 冬の公共交通機関の確実性、信頼性を高めるための渋滞対策として有効だと思うものはどれですか？(2つまで選んで回答)



Q. 今後の冬の渋滞緩和に向けた方策として良いと思うものはどれですか？



Q. 歩道除雪など施策を推進するにあたり、住民協力を得るための有効な手段はどれだと思いますか？(2つまで選んで回答)



Q. 各自治体において、地域防災計画の中で積雪期の地震災害予防計画は策定していますか？

